

令和元年度 事業報告書

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

社会福祉法人 上里町社会福祉協議会

令和元年度社会福祉法人上里町社会福祉協議会事業報告

第1 令和元年度事業の概要

急速な勢いで少子高齢化が進展し、核家族化、単身世帯の増加が進行する中、地域での住民相互のつながりが希薄化し、地域の相互扶助機能の低下が懸念されている。

また、住民が抱える課題は様々であり、福祉に対するニーズは増大するとともに複雑化、多様化している。

このような状況の中、福祉ニーズに応えるため、関係機関、団体と連携しながら、地域住民等の主体的な取り組みと協働し、地域の福祉力を高め、「地域で支え合いながら誰もがいきいきと充実して暮らせるまち」を構築するため、各種福祉事業を積極的に推進した。

第2 重点項目

1 相談支援事業の推進

生活困窮者、多問題家族や制度の狭間の問題へ取り組みを推進し、分野を問わない包括的な相談支援を実施した。

また、民生委員・児童委員による心配ごと相談や弁護士による無料法律相談を実施した。

2 小地域福祉活動の推進

地域課題に対応していくため、関係機関等と連携し、ふれあいサロンや地域住民の参加を主体とした各種福祉活動など、地域の持つ地域力の活性化を積極的に推進した。

また、町と連携し、モデル地区での生活支援体制整備事業（地域の支え合い活動）の仕組み作りに取り組んだ。

3 福祉教育の推進

子どもたちに福祉の「種」を芽生えさせる福祉教育の活動として、小学校の総合学習の時間に指導者やボランティアの派遣に協力した。

また、小・中学校を対象に開催するボランティアスクールや町民を対象とした各種福祉講座を開催し、町民同士が支え合う福祉の心が育まれる取り組みに注力した。

第3 実施事業

1 会務の運営

名 称	開催年月日	内 容
理事会	令和元年5月27日	評議員選任・解任委員会の開催について 評議員の推薦について 評議員会の開催について 平成30年度事業報告について 平成30年度収入支出決算について
	令和元年6月18日	会長、副会長、常務理事の選定について

名 称	開催年月日	内 容
理事会	令和元年9月24日	生活支援体制整備事業の実施について 定款変更について 令和元年度収入支出補正予算について
	令和元年12月23日	令和元年度収入支出補正予算について 評議員会の開催について
	令和2年3月23日	令和元年度収入支出補正予算について 令和2年度事業計画について 令和2年度収入支出予算について 評議員会の開催について
評議員会	令和元年6月17日	理事及び監事の選任について 平成30年度事業報告について 平成30年度収入支出決算について
	令和元年9月30日	生活支援体制整備事業の実施について 定款変更について 令和元年度収入支出補正予算について
	令和2年1月16日	令和元年度収入支出補正予算について
	令和2年3月31日	令和元年度収入支出補正予算について 令和2年度事業計画について 令和2年度収入支出予算について
監査会	令和元年5月22日	平成30年度事業及び平成30年度収入支出決算の監査
評議員選任・ 解任委員会	令和元年5月30日	評議員の選任について
社協支部三役会	令和元年7月3日	令和元年度補助金交付について 令和元年度各支部事業について 情報交換
ハッピーランチ サービス連絡会議	令和元年7月8日	平成30年度のふり返し 今後の改善点・活動内容について
歳末たすけあい 配分委員会	令和元年12月23日	募金実績額の配分について 慰問方法について

2 諸活動の推進

(1) 調査・広報活動

ホームページ、フェイスブックで随時の情報発信、社協だよりの発行（3月1日）、町広報紙への記事掲載などで、情報提供や活動報告を行い、社協をはじめ、ボランティアセンター、ヘルパーステーション等のPRを行った。

また、民生委員・児童委員等の協力により、ひとり暮らし高齢者等の福祉調査を実施した。

(2) 在宅福祉事業の推進

ア ねたきり高齢者等紙おむつ配布事業

町内在住で在宅の紙おむつ利用者（ねたきり高齢者等）を対象に、民生委員・児童委員の協力により、5月に紙おむつを配布した。

（配付人数 109名）

イ かみさと高齢者等支え合いサービス事業（高齢者等生活応援隊）

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に協力会員を派遣し、掃除、調理、庭の手入れ等日常生活上の様々な援助を行う、支え合いサービス事業を上里町と委託契約を締結し実施した。

（延べ利用時間 846時間、延べ利用者数 421名）

※利用会員登録者数 86名、協力会員登録者数 48名

ウ ハッピーランチサービス事業

見守り活動の一環として、町内の65歳以上のひとり暮らし高齢者宅（希望者）へ手作りのお弁当を宅配するハッピーランチサービスを実施した。（月1回実施。調理は調理ボランティア、配達は民生委員・児童委員）※7月～9月はパン・飲料の配達。

R2. 3月は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

（延べ利用者数 953名）

※利用者登録数 113名、調理ボランティア 27名

エ 福祉機器等貸出サービス

福祉機器（車イス・シルバーカー・杖等）を必要な個人及び団体に、無料で貸し出しを行った。

- ・車イス 111回 ・白杖 41回 ・疑似体験セット 23セット
- ・シルバーカー 1回 ・録音機 13回

オ ねたきり高齢者等介護用電動ベッド貸与事業

ねたきり高齢者等に無料で最長6ヶ月間介護用電動ベッドの貸与を行った。

（貸与件数 4件）

(3) 社協支部事業の推進

小学校区単位に組織された5つの社協支部が、それぞれの地域に根ざしたきめ細かな各種福祉事業を実施した。

- ・ひとり暮らし高齢者見守り活動（5支部）
- ・ひとり暮らし・ねたきり高齢者宅訪問（賀美・長幡・上里東・神保原）
- ・ひとり暮らし等高齢者食事交流会（長幡・七本木・上里東）
- ・高齢者と児童の交流会（賀美・長幡）
- ・小学校運動会への高齢者招待（賀美・七本木・神保原）
- ・小学校かえで祭り協力（上里東）
- ・児童の下校見守り活動（長幡） 他

(4) ふれあいサロン設置の推進

地域の高齢者等と住民等が気軽に集い、交流や健康増進の場を提供するふれあいサロンの設置を関係機関、地域住民等に呼びかけ、積極的に推進した。

また、既に開設しているサロンを支援し、更なる充実を図った。

(令和2年3月31日現在のサロン開設数 18ヶ所。)

(5) 上里町ファミリー・サポート・センターの運営

子育て中の保護者の日常生活を支援するため、子どもの預かりや送迎等のサービスを行うファミリー・サポート・センターの運営を上里町から受託し実施した。

また、提供会員等を対象に、普通救命講習等の研修会を開催した。

(活動件数 506回、活動時間 466時間)

※依頼会員 47名、提供会員 22名、両方会員 2名

(6) 相談事業の開催

ア 心配ごと相談

毎月第一・第三木曜日、午後1時30分から午後3時まで、上里町コミュニティセンターにおいて、民生委員・児童委員が町民の日常生活の悩みや心配ごとに対して相談にあたる心配ごと相談を開催した。(相談件数 9件)

○相談業務研修会

令和2年1月17日、委嘱している相談員を対象に研修会を開催した。

(参加人数 14名)

イ 弁護士による無料法律相談

弁護士による法律に関する相談を上里町福祉町民センターにおいて、年4回開催した。

(6月20日、9月25日、12月16日、3月17日の午後1時15分～午後3時、相談件数 18件)

ウ 結婚相談

毎月第二水曜日、午後1時30分から午後4時まで福祉町民センターにおいて結婚の相談にあたり、9件の紹介を行った。

また、郡市内4社協(本庄・美里・神川・上里)合同で婚活パーティーを1回(参加者23名)開催し、カップル6組が成立した。(登録者 男性21名、女性5名)

(7) 貸付事業

ア 上里町社会福祉協議会福祉資金

低所得世帯の生活援助のため、福祉資金の貸付を行った。

(相談件数 13件 うち貸付件数 4件、貸付金額 53,000円)

イ 埼玉県社会福祉協議会生活福祉資金貸付制度

新型コロナウイルス感染拡大の影響による減収世帯へ緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付の申請受付を行った。

(問い合わせ 4件 相談 6件 申請 4件)

(8) アスポーツ相談支援事業への協力

アスポーツ相談支援をセンターとの協働により、生活困窮者の相談に応じ、自立に向けての支援を行った。

(相談件数 2件)

(9) 福祉サービス利用援助事業（埼玉県日常生活自立支援事業（通称：あんサポ））

判断能力が十分でない方々（認知症高齢者、精神障害者、知的障害者等）が、地域で自立した生活が送れるよう、日常的な金銭管理や重要書類の預かりサービス等を行った。

(実施件数 2名（継続中）)

(10) 彩の国あんしんセーフティネット事業の推進

町内福祉施設と協働し、生活困窮に陥った方を救済する事業で、訪問・相談等を行い、経済的援助（食料の現物支給（購入費支援）等）や利用できる制度の紹介等、自立に向けた支援を行った。

(支援件数 3件（電気代・食料購入費・ガス代・灯油代・水道代等）)

(11) フードバンク事業

生活困窮者に対し緊急的に食料を提供し、当座の生活を維持するための食料支援事業をフードバンクの協力を得て実施した。

また、平成30年度からは歳末たすけあい事業の一環として町社会福祉協議会として食料購入を行い、事業の強化を図った。

(食料支援件数 延べ39世帯)

(12) ボランティアセンター事業、研修・講習会活動

ア ボランティア登録

- ・個人（技術・労力・事業協力等）18名
- ・団体（ 〃 ）43団体（1,387名）

イ ボランティア問い合わせ・相談・活動協力

受付件数 566件

- ・ボランティア一般 310件
- ・ボランティアグループ支援 187件
- ・福祉教育関係 43件
- ・その他 26件

ウ 寄付

- | | |
|------------|-------------|
| (物品)・個人 8件 | (寄付金)・個人 8件 |
| ・団体 6件 | ・団体 38件 |
| ・企業 1件 | |

エ 収集リサイクル活動

町民・団体等の協力により、使用済切手、使用済みインク、エコキャップ等を収集し、収集体（福祉施設や関係機関）に送付した。

オ 手話講習会（はじめての手話体験教室）

聴覚障害者との日常会話を行うのに必要な手話技術を修得するとともに、聴覚障害者の自立と社会参加促進のため、11月8日・15日・22日・29日、12月6日の計5回教室を開催した。

（延べ受講者数 55名）

カ 紙芝居ボランティア講座（読みきかせボランティア講座）

紙芝居・読みきかせの基礎を学習し、今後のボランティア活動に役立てるため、2月27日に講座を開催した。

（受講者数 15名）

キ ボランティアに役立つ傾聴講座

ボランティア活動を行う上で役立つ、基礎的な傾聴技術について学ぶため、2月3日に講座を開催した。

（受講者数 10名）

ク ボランティア体験学習（福祉体験教室）

総合的な学習の一環として、児童・生徒の福祉への理解や関心を高めるため、各小・中学校で開催された福祉体験教室の開催に協力、ボランティアを講師として派遣した。

（派遣回数 8回、延べ派遣者数 70名）

ケ 小・中学生のボランティアスクール

小・中学生を対象に、福祉の体験を通して思いやりの心を育て、実生活においてもその心を持って行動できるよう、7月24日・26日の2日間開催した。

※内容：手話体験・アニマルセラピー体験

（延べ参加者数 36名）

コ 共学支援プログラム事業（児玉郡市社協、本庄特別支援学校共催事業）

○支援ボランティア養成講座

障害への理解と支援者学習を地域で支えるボランティアを育成することを目的として、埼玉県立本庄特別支援学校にて9月～10月に開催した。

（延べ受講者数 10名）

○フォローアップ講座

既に特別支援学校で活動しているボランティアのフォローアップを目的として、基本的な心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ講座を開催した。

（受講者数 12名、職員含む）

サ わんぱく相撲大会

5月26日に本庄武道館で行われたこだま青年会議所主催の子ども相撲大会に、共催団体として参加協力した。

（参加ボランティア 3名）

(13) ふれあい交流事業（ふれあい福祉講演会）

9月28日（土）、ひとり暮らし高齢者及び身体障害者、町民を対象に毒蝮三太夫氏による「ふれあい福祉講演会」を、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力により実施した。

（参加者 500名、場所 上里町総合文化センター（ワープ上里））

・参加者内訳	ひとり暮らし高齢者	156名
	身体障害者	3名
	民生委員・児童委員	48名
	ボランティア	107名
	一般町民	186名

(14) 福祉協力校事業の推進

福祉教育の推進を図るため、町内の小・中学校への福祉活動に対して助成を行った。

（助成金 小学校 30,000円/校 中学校 40,000円/校）

- ・福祉に関する調べ学習・人権教育等書籍代、
- ・高齢者との交流会、運動会招待状
- ・福祉体験学習（アイマスク・イヤーマフ）、
- ・施設等訪問（模造紙等資材費）
- ・ボランティア用清掃用具、
- ・使用済み切手・書き損じはがき等収集
- ・募金活動・ボランティア活動等

(15) 日赤埼玉県支部上里町分区事業

ア 日赤活動資金募集の推進

区長・地区役員・町民等の協力により、募集期間である5月を中心に日赤活動資金募集の推進を行い、多くの皆さまから資金（会費）を納入いただいた。

令和元年度日赤活動資金募集実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
実績額（円）	512,600	179,500	641,600	785,600	688,433	2,807,733

イ 赤十字奉仕団活動の協力

(ア) 赤十字防災セミナーの開催

- ・災害図上訓練(DIG)地震編の実施

「自分のまち」防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策を考えるため、災害図上訓練(DIG)を実施した。

（参加人数 35名）

(イ) 視察研修の実施

- ・防災拠点施設「東京臨海広域防災公園 そなエリア東京」の見学
地震発生後72時間の生存力をつける、体験型学習を行った。

（参加人数 30名）

(16) 社協会員会費募集

区長・地区役員・町民等の協力により、募集期間である8月を中心に社協会員会費募集の推進を行い、多くの皆さまから会費を納入いただいた。

令和元年度社協会員会費実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
普通会員 (件)	1,116	970	1,541	2,497	1,403	7,527
特別会員 (件)	8	8	24	30	43	113
会員合計 (件)	1,124	978	1,565	2,527	1,446	7,640
会費 (円)	566,000	493,000	794,500	1,278,500	744,500	3,876,500
寄付 (円)	0	0	0	5,100	400	5,500
合計金額 (円)	566,000	493,000	794,500	1,283,600	744,900	3,882,000
加入率	74%	84%	74%	67%	72%	72%

(17) 埼玉県共同募金会上里町支会事業

ア 赤い羽根共同募金

区長・地区役員・町民等の協力により、募集期間である10月を中心に赤い羽根募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただいた。

令和元年度共同募金（赤い羽根募金）実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
実績額 (円)	505,200	348,500	674,960	523,500	606,284	2,658,444

イ 歳末たすけあい募金（歳末たすけあい運動）

新たな年を迎える時期に、町民の福祉向上を目指し、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、関係機関と協働し、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、各種福祉事業に取り組んだ。

この歳末たすけあい運動の財源とするため、区長・地区役員・町民等の協力により、運動時期である12月を中心に歳末たすけあい募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただいた。

令和元年度共同募金（歳末たすけあい募金）実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
実績額 (円)	447,955	343,800	583,700	540,200	536,129	2,451,784

令和元年度歳末配分実績

区分	慰問数	内容等	配分金額
困窮世帯	51 世帯	慰問金配付 (10,000円/世帯 家族1名増につき3,000円増額)	603,000 円
ねたきり高齢者等	99 人	紙おむつ等配付	659,734 円
町内福祉施設	27 施設	みかん配付 (61箱)	219,600 円
生活困窮者支援用食糧購入		米・缶詰等長期保存可能食品	82,588 円
災害用・貸出用機器購入		移動炊飯器 1台	288,420 円
災害ボランティアセンター用機器購入		ポータブル電源 2台	143,000 円
町民貸出用ベッド消耗品購入		マットレス 2枚	28,600 円
社協だより発行		町民への事業報告・収入報告等	55,000 円
合計			2,079,942 円

※2, 451, 784円-2, 079, 942円=371, 842円
(募金実績) (配分合計) (残額)

残額371, 842円は埼玉県共同募金会へ送金し、上里町分として次年度へ繰り越し。

(18) ヘルパーステーションの運営

介護保険利用者、事業対象者及び障害者総合支援法で訪問介護が認定された利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介護や日常生活全般の援助を行うヘルパーステーションの運営を行った。

ア 要介護（介護給付）

延べ訪問件数 2,127件、延べサービス時間 2,071時間、利用者 20名

イ 要支援・事業対象者

延べ訪問件数 382件、延べサービス時間 382時間、利用者 9名

ウ 障害者（障害福祉サービス）

延べ訪問件数 1,381件、延べサービス時間 1,295時間、利用者 14名

(19) 居宅介護支援センターの運営

在宅介護や在宅生活に関する相談援助、居宅サービス計画（ケアプラン等）の作成、介護サービス提供事業者との連絡調整等を行う居宅介護支援センターの運営を行った。

ア ケアプラン

作成件数 252件、利用者 33名

イ 介護予防ケアプラン・ケアマネジメント業務

作成件数 126件、利用者 12名

(20) 老人福祉センター「かみさと荘」の管理・運営

老人福祉センター「かみさと荘」の管理・運営を指定管理者制度に基づき上里町と協定を締結し、実施した。

（開所日数 222日、延べ利用者数 5,654名）

(21) 生活支援体制整備事業

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくため、10月に町と委託契約を締結した。生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を有する生活支援コーディネーターの配置を行い、11月と1月に準備委員会、10月、12月、2月に企画委員会を開催し、福祉活動圏域での支え合いの仕組みづくりを推進した。

令和元年度事業報告書の附属明細書

令和元年度事業報告書の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。